

広報

つるい

平成30年

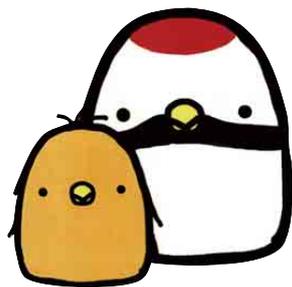
9月号

No.685



the most beautiful
villages
in japan

鶴居村は「日本で最も美しい村」
連合に加盟しています



鶴居村マスコットキャラクター
「つるぼー」

今月の主な話題

- つるい夏祭り特集・・・2～3
- 村の話題・・・4～5
- 役場からのお知らせ・・・6
- 消防署からのお知らせ・・・7

つるい納涼まつり

7月20日、総合センター前庭にて「つるい納涼まつり」が開催されました。

会場には村内外から合わせて13店が出店され、それぞれの町村の特産品を活かしたメニューが提供されるなど、大いに賑わいを見せていました。ステージイベントでは、2年ぶりとなる「新根室プロレス」が行われ、体長3メートルのアンドレザ・ジャイアントパンダが登場すると一際大きな拍手と歓声が挙がっていました。

また、村の特産品や豪華景品が当たる大抽選会では、番号が読み上げられるたびにたくさんの方の歓声と笑顔に包まれ、大盛況の中で閉幕となりました。



つるい夏祭り特集

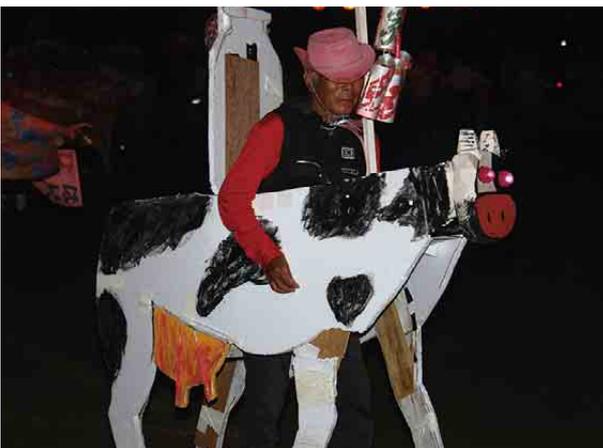
鶴居村ふるさと仮装盆踊り花火大会

8月14日、鶴居村宮球技場にて、「鶴居村ふるさと仮装盆踊り花火大会」が開催され、村内外から多くの来場者が訪れました。

仮装盆踊りには、子どもの部に10名、一般の部に9名、団体の部に8名、一般の参加があり、それぞれに工夫を凝らした衣装で会場を大いに盛り上げました。

子どもの部は西内タクマくん（三重県）、一般の部は2連覇となるスモウマサキさん（釧路市）、団体の部では「火の鳥」（釧路市）がそれぞれ優勝の栄冠を手にしました。

また、花火大会では、約2,000発の花火が鶴居の夜空を鮮やかに彩り、来場者はそれぞれに夏を満喫した1日となりました。





世界一大きな絵2020

協力して創り上げました！
7月13日、下幌呂小学校の全校児童が、タンチョウが羽ばたく大きな絵を制作しました。

「世界一大きな絵2020」は、NPO法人アース・アイデンティティー・プロジェクト（東京都）が主催している事業で、世界の子どもたちが、国や宗教・人種を越えて一枚の「世界一大きな絵」を完成させることにより、共通の喜びを分かち合い、情操を育み、世界平和に対する意識を育てていくことを目的として展開されています。

児童らは、1メートル×5メートルの布5枚にそれぞれ絵を描き、その後、5枚の絵をつなぎ合わせ、5メートル四方の1枚の大きな絵を完成させました。

完成した絵は主催者に送られ、世界中の絵を1枚につなぎ合わせ、東京五輪が開催される2020年に披露される予定のことです。



「鶴居モデル」構築へ向けて 鶴居村タンチョウと共生 するむらづくり推進会議

7月24日、タンチョウと地域の共生の在り方とその実現に向けた取組を「鶴居モデル」として構築することを目的に、鶴居村タンチョウと共生するむらづくり推進会議第1回会議が開催されました。

同会議は、タンチョウに関わる活動をしている方や農業、商工業者、観光関係者、公募による村民など20名の委員で構成されており、今年度は4回程度の会議の開催が予定されています。

会議に続いて行われた「タンチョウと鶴居村のいま」と題した説明会には、委員のほか一般村民ら50人が参加し、タンチョウを取り巻く現状について、委員や関係者の説明に耳を傾けていました。

恒久の平和を願って 鶴居村戦没者追悼式

8月7日、忠魂碑前にて「鶴居村戦没者追悼式」が、ご遺族の方々や関係者ら約50人が参列し執り行われました。

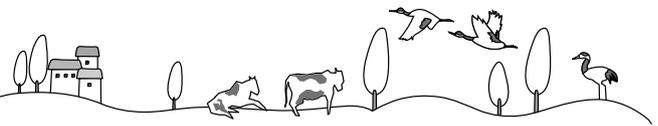
式では、参列者全員が黙とう後、大石村長が「戦争の悲惨さや平和の尊さを胸に刻み、悲しみを繰り返さないことを誓い、心豊かな暮らしを続けていくことのできる村づくりを進めたい」と式辞を述べました。

参列者は一人ひとり、白菊を献花し、村にゆかりのある93柱の英霊の遺徳をしのびました。船本新二郎村遺族会長は謝辞の中で「家族を亡くした悲しみは、ひとときも忘れたことはない。戦争はあってはならないことで、核兵器がなくなる世界になければならない。」と述べ、哀悼の意を捧げました。



故人をしのび献花する参列者

役場からのお知らせ



平成30年度住宅・土地統計調査が実施されます

総務省統計局では、10月1日現在で住宅・土地統計調査を実施します。

この調査は、住生活に関する最も基本的で重要な調査で、全国約370万世帯の方々を対象とした大規模な調査です。

今回の調査では、住宅数や国民の居住状況だけでなく、高齢化社会を支える居住環境、耐震性・防火性等の住宅性能水準の達成度、土地の利用状況のほか、「空家等対策の推進に関する特別措置法」が施行されたことにより「空き家の実態」を把握することをお願いとしています。

調査期間中、統計調査員が調査書類を配布します。調査への回答は、インターネットでの回答または紙の調査票での回答をお願いします。

なお、調査により集められた調査票の記入内容は、「統計法」によって厳重に保護されます。統計調査員をはじめとする調査関係者が調査で知り得た内容を他に漏らしたり、統計を作成・分析する目的以外に調査票を使用することは絶対にありません。これらの行為は、「統計法」により固く禁じられていますので、安心してありのままにご回答いただきますよう、お願いいたします。

【お問合せ先】

役場企画財政課企画調整係
☎ 64-2112

「札幌ふるさと鶴居会（仮称）」設立に向けた情報提供のお願い

「ふるさと会」は、ふるさと鶴居村

から離れて暮らす方が集う会です。現在は釧路市近郊に住んでいる方が集う「釧路鶴居会」と東京を中心とする本州在住の方が集う「本州在住鶴居会」の2つがあります。

村では、札幌市とその近郊に住んでいる方の「札幌ふるさと鶴居会（仮称）」の設立に向けた準備のため、札幌市とその近郊にお住まいで鶴居村にゆかりのある方の情報を求めています。ご家族やお知り合いで該当する方がいらっしゃいましたら、ご本人から役場企画財政課企画調整係までご連絡をいただけるようご協力をお願いいたします。

鶴居で生まれた方、幼少期を鶴居村で過ごした方、仕事の関係で鶴居村に住んだことがある方など鶴居村に少しでもゆかりのある方であればどなたでも結構です。

このたびの情報提供のお願いについては、あくまで設立に向けた当初のご案内のためのもとなりますので、設立後の入会を強制するものではありません。

また、ご連絡いただいた個人情報につきましては、今回の「札幌ふるさと鶴居会」設立準備の業務のみに使用させていただきます。

皆様からの情報提供を心よりお待ちしております。

【お問合せ先】

役場企画財政課企画調整係
☎ 64-2112

防衛医大医学科学生・防衛医大看護学科学生・防衛大学生（一般）の募集について

防衛省では、9月5日から9月28日

まで、平成31年4月採用の「自衛隊各種学生」の募集を次のとおり行います。※資格はいずれも高卒（見込含）21歳未満の者

①防衛医科大学校医学科学生

（試験日）10月27日（土）・10月28日（日）

②防衛医科大学校看護学科学生

（試験日）10月20日（土）

③防衛大学校学生（一般）

（試験日）11月3日（土）・11月4日（日）

（試験場所）

帯広地方協力本部釧路出張所会議室

または陸上自衛隊釧路駐屯地

【お問合せ先】

役場総務課 ☎ 64-2111

自衛隊帯広地方協力本部釧路出張所
☎ 22-11053

「村長の出前トーク」の実施について

村では、村長等が各地域へ足を運び、より身近な交流や情報共有などに努めるため、「出前トーク」を実施しています。この「出前トーク」は、地域・各種団体等が抱えている将来の村づくりや地域づくり等への課題について、村長等が直接地域へ出向きます。「出前トーク」を希望する地域・各種団体等は次の事項にご留意の上、お申込み願います。

- (1)対象者 原則、既存の団体・サークル等で最低5人以上の参集が見込めること。
- (2)実施日 事前に役場企画財政課企画調整係までご相談ください。
- (3)時間 概ね1時間程度
- (4)場所 地域のコミュニティセンター等の公の施設
- (5)留意事項 将来の村づくりや地域づくりの課題について建設的な意見を伺うための場ですので個人的な要望はお受けできません。
- (6)申込方法 トークテーマ・日時等を役場企画財政課企画調整係へご連絡ください。日程等を調整した上で、実施日を決定します。

【お問合せ先】

役場企画財政課企画調整係 ☎ 64-2112

9月24日から9月30日は結核予防週間 ～長引く咳、微熱に注意～

結核は過去の病気と思われがちですが、日本では1日約50人が結核を発病しています。結核は、人から人へと空気を介してうつる病気ですが、早期に発見して治療を開始することで治すことができ、周囲にうつす可能性も低くなります。

症状は風邪と似ていますが、2週間以上せきが続く、タンが出る、体がだるい、微熱が続くといった症状がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

小児では症状が現れにくく、重篤な状態になりやすいため、遅くとも1歳までにBCGの予防接種をしておきましょう。



9月1日は「防災の日」

大正12年のこの日に甚大な被害をもたらした関東大震災が発生したことや、台風の多い時季であることが主な理由として、広く国民に地震や台風などの災害に対する防災意識を高めてもらうため、9月1日が「防災の日」と定められました。いつ発生するかわからない地震等の災害時のためにも、近くの避難所がどこにあるのかあらためて確認しておきましょう。また、災害時の非常食等の賞味期限はきれていませんか? 防災グッズは整備されていますか? こちらももう一度確認をしましょう。

(資料提供: 鶴居村役場総務課)

(鶴居村HPアドレス <http://www.vill.tsurui.lg.jp/kurashi/bousai/hinanbasho.html>)

施設名	所在地	避難対象地区
鶴居小学校	鶴居西2-27	鶴居西、北
鶴居村総合センター	鶴居西1-1	鶴居西、北、下雪裡
鶴居中学校	鶴居東2-31	鶴居西、東、南
上幌呂コミュニティセンター	上幌呂	上幌呂、新幌呂
幌呂小学校	幌呂東4-14	幌呂市街、中幌呂、茂幌呂、支幌呂
幌呂中学校	幌呂東2-21	幌呂市街、中幌呂、茂幌呂、支幌呂
幌呂農村環境改善センター	幌呂東2-21	幌呂市街、中幌呂、茂幌呂、支幌呂
下幌呂小学校	下幌呂	下幌呂
下幌呂コミュニティセンター	下幌呂	下幌呂
下雪裡コミュニティセンター	下雪裡	下雪裡
下久著呂コミュニティセンター	下久著呂	下久著呂
中久著呂コミュニティセンター	中久著呂	中久著呂
支雪裡コミュニティセンター	支雪裡	支雪裡
茂雪裡コミュニティセンター	茂雪裡	茂雪裡



- ・指定避難場所は、避難対象地区毎に異なりますので、確認しておきましょう。
- ・避難の際は慌てずに、なるべく家族や近所の人たちと声をかけ合って避難しましょう。

9月9日は「救急の日」

皆さんは9月9日が何の日か知っていますか。

「9(きゅう)9(きゅう)の日」、すなわち「救急の日」です。

救急の日は救急業務に対して住民の方々の理解と認識を深めてもらうとともに、救急医療関係者の意識の高揚を図ることを目的に定められました。

突然の事故や病気などの時、救急隊が現場に到着するまでの間に救急現場に居合わせた人が迅速な119番通報、適切な応急手当を実施することにより症状の悪化防止、救命率の向上が期待されます。家族や友人のもしもの時のために救急講習を受けてみませんか? 鶴居消防署では各事業所はもちろん、複数名での講習依頼も随時受け付けています。お気軽に鶴居消防署救急救助係(TEL 64-2344)までお問い合わせください。



平成30年9月1日～30日は、「健康増進普及月間」です

健康増進
普及月間とは？

平成30年度「健康増進普及月間」統一標語

1に運動 2に食事 しっかり禁煙 最後にクスリ ～健康寿命の延伸～

厚生労働省では、健康に対する国民一人ひとりの自覚を高め、健康づくりを推進していくため、毎年9月を「健康増進普及月間」と定めています。

健康寿命をのばそう！3つのポイント

① 毎日プラス10分身体を動かそう！

今より少しでも長く、「10分多く」、元気にからだを動かすことが健康への第一歩です。「プラス10分」によって「生活習慣病発症を3.6%」「ガン発症を3.2%」「認知症の発症を8.8%」低下させることが可能なことが示唆されています。

- ◆18歳～64歳の方は1日60分、
 - ◆65歳以上の方は1日40分
- を目標にからだを動かしましょう。



② 1日プラス70gの野菜で食生活を見直そう！

日本人は平均1日280gの野菜を摂っています。しかし、生活習慣病予防の観点からは350gの摂取が推奨量なので、1日あと70gほど足りません。1日にあと小皿ひとつ分、プラス70gの野菜を食べることで不足を補い、健康寿命を伸ばしましょう。



③ 禁煙で自分や大事な人の健康を守ろう！

たばこから立ち昇る煙や喫煙者が吐き出す煙にも、多くの有害物質が含まれています。長年タバコを吸っていても、禁煙するのに遅すぎることはありません。自分や、大事な人の健康を守るためにも禁煙を目指しましょう。



★ 禁煙の効果 ★

直後	24時間後	数日後	1ヶ月～9ヶ月後
周囲の人をタバコの煙で汚染する心配がなくなる。	心臓発作の可能性が少なくなる。	味覚や嗅覚が改善する。歩行が楽になる。	せきや喘鳴が改善する。スタミナが戻る。気道の自浄作用が改善し感染症にかかりにくくなる。
1年後	2～4年後	5～9年後	10～15年後
肺機能の改善がみられる。	虚血性心疾患のリスクや脳梗塞のリスクが約1/3減少する。	喫煙を続けた場合に比べて肺がんのリスクが明らかに低下する。	様々な病気にかかるリスクが非喫煙者のレベルまで近づく。

9月10日～16日は、「自殺予防週間」です

9月10日の世界自殺予防デーにちなんで、毎年9月10日からの1週間を自殺予防週間と設定しております。

さまざまな悩みを抱えている方は、相談してみることで、ひとりでは気づかなかった解決方法が見つかるかもしれません。一人で悩まず、専門の相談機関にご相談ください。

また、身近な方の悩みに気づいたら、温かく寄り添いながら、悩みに耳を傾け、専門家への相談をすすめ、やさしく見守りましょう。

新刊案内

鶴居村ふるさと情報館みなくる図書室だより

絵本のおはなし会について

みなくる図書室では毎月第3土曜日の11時から絵本のおはなし会をしています。小さなお子さんや小学生、大人のひとでも興味のある方はぜひご参加ください。

※9月のおはなし会は15日(土)です。

●開館時間……10:00~18:15

●休館日……9月の図書整理日は25日(火)です。

●貸し出し……【本・雑誌・紙芝居】

2週間(1人10冊まで)

【CD・VTR・DVD】

1週間(CD3点、VTR2点、DVD1点まで)

※紹介している本は8/29(水)から利用できます。

図解 国会の楽しい見方



時事通信社編集部 監修
政治のニュースや国会中継を見ていると不意にわいてくる素朴な疑問に答えるとともに、内閣の仕組みや各省庁のはたらき、官僚の役割、国会議事堂の成り立ちなど、日本政治の仕組みを裏側を含めてやさしく解説する。

なぜあの人のシャツはパリッとしているのか



読売新聞生活部 著
一晩寝かせたカレーはおいしいって言うけどなぜ? お風呂の水あかってなんでできるの? 暮らしにおける疑問の数々に、専門家や識者が最新研究に基づいて答える。生活に役立つ知識が満載。『読売新聞』連載を単行本化。

風に恋う



額賀滯 著
かつては全国大会連続金賞だったが、現在は見る影もない名門高校吹奏楽部に、黄金時代の部長がコーチとして戻ってきた。そして1年生の基を部長に任命し…。はたして全国大会への切符を手にすることはできるのか!?

絶対解答可能な理不尽すぎる謎



未須本有生 著
「状況証拠が犯人を作る?」「わずかな記憶を頼りに、消えた熱帯魚を特定せよ!」…。ワイン、バラ、熱帯魚など、それぞれの専門知識を武器に、7人の素人探偵が日常の謎を解く。

ヨッチちゃんのよわむし



那須正幹 作
石川えりこ 絵
友だちと一緒に、どんぐりを拾いに行くことになった、弱虫のヨッチちゃん。「くまやおばけが出るかもしれないよ」と言われて、怖くなって…。

みえるとかみえないとか



ヨシタケシンスケ さく
伊藤亜紗 そうだん
宇宙飛行士のぼくが降り立ったのは、目が3つあるひとの星。普通にしているだけなのに、「後ろが見えないなんてかわいそう」なんて言われて変な感じ…。ヨシタケシンスケが伊藤亜紗に相談しながらつくった、違いを考える絵本。

「高速道路親子現場見学会」

北海道横断自動車道（阿寒 I C～釧路西 I C間）の工事現場及び釧路東 I C管理ステーションの見学会を実施します。

【日 時】

9月22日（土）午後1時～午後5時まで

【参加費】

無 料

【集合場所】

釧路地方合同庁舎正面
（合同庁舎の駐車場利用可）

【対 象】

釧路管内在住の小学生とその保護者

【定 員】

親子20組、40名程度（先着順）

【申込期間】

9月3日（月）～9月7日（金）

【申込・問合せ先】

釧路市役所道路河川課（☎31-4599）
（受付時間：平日午前9時～午後5時）

9月の自然観察会



●バードカービング講座1回目(全5回)

【日 時】9月8日(土)午前10時～午後3時

【内 容】釧路湿原に生息する野鳥をモデルに角材を削り彩色して作品を作ります。

【定 員】10人

【参加費】5,500円(材料費)

【開催場所・申込・問合せ先】

塘路湖エコミュージアムセンター
（☎015-487-3003）

●アイヌ民族が利用した植物を観察しよう

【日 時】9月9日(日)午前10時～12時

【内 容】湿原を歩きながらアイヌ民族が利用した植物を観察し、彼らの知恵と歴史を学びます。

【定 員】15人

【参加費】無料

【開催場所】温根内ビジターセンター周辺

【申込・問合せ先】

温根内ビジターセンター(☎65-2323)

●みんなで調べる復元河川環境・2018秋 （釧路開発建設部との共催イベント）

【日 時】9月22日(土)

午前8時30分～午後3時15分

【内 容】カヌーとEボートで移動しながら、釧路川蛇行復元区域の自然観察会や環境調査を行います。

【定 員】32人

【対 象】小学4年生以上

【参加費】無料

【開催場所】

釧路地方合同庁舎または憩の家かや沼集合

【申込方法】9月7日(金)までに電話(メールでの申込不可・応募多数の場合は最大2名を1口として抽選)

【申込・問合せ先】

釧路国際ウェットランドセンター事務局
（☎31-4594）



鶴居文芸

凍原社8月句
（俳句）

風うけてリリーパークの花めぐり

夏椿甥千の風となりけり

猛暑なり水害の町風も死す

はやすでに雲の上ふく秋の風

突として涼しくなりぬ今日の風

引き寄する波のささやき貝風鈴

いづこより来て去る風の盆の月

恒子

紀代子

和子

春夢子

ちえこ

水脈

ミヤノ

寄 付

いただきました心温まる善意に心よりお礼申し上げます。

茂雪裡 松井 静子 様

金100,000円

タンチョウ自然専門員のお仕事

教育委員会 教育課生涯学習係 タンチョウ自然専門員 音成 邦仁

TEL:64-2050 FAX:64-2900 E-mail:kunihito_otonari@vill.tsurui.lg.jp

鶴居村タンチョウと共生するむらづくり推進会議始動

前号でお伝えしました「鶴居村タンチョウと共生するむらづくり推進会議」第1回会議が7月24日に行われました。委員は、タンチョウ関係者や農業関係者、商工・観光関係者、関係団体、一般公募から、様々な立場にある村民20名に決まりました。また、関係機関として環境省釧路自然環境事務所、北海道釧路総合振興局、鶴居村議会、役場関係部局にもご出席いただきました。今回ははじめての会議でしたので、会議の目的や運営方法などを共有し、役員選考などを協議しました。「タンチョウ鶴居モデル」に関わる具体的な話し合いは次回以降となりますが、まずはタンチョウと地域の将来像を委員間で共有したいと考えています。

会議後は、タンチョウを取り巻く現状を多くのみなさんに理解してもらおうと、一般向けの説明会「タンチョウと鶴居村のいま」を開催し、委員を含む約50名が参加されました。本会議の国安副委員長より趣旨を説明した後、委員がそれぞれの立場からタンチョウとの関わり方を報告する形で進めました。

黒沢副会長には、タンチョウ保護の歴史や、今後の保護事業の方針などを説明いただきました。将来的な給餌の廃止については、あくまでも国が事業として行う給餌を対象にしたものであり、例えば地域が主体的に実施する給餌については、その根拠や責任の所在などが適当と判断されれば必ずしも否定されるものではないという方針であることが伝えられました。委員となられた四地区の農家さんからは各地区のタンチョウの生息状況や被害の実態などが報告され、地区による違いがよくわかりました。このほかにも、タンチョウと関わりを持つ団体の活動や、タンチョウを目的に訪れる観光客の動向、小中学校での関わりなどが説明され、まさにタンチョウを切り口に様々な角度から「タンチョウと鶴居村のいま」を示せたものと思います。

最後に、大石会長よりタンチョウと共生するむらづくりに対する意気込みを表明し、閉会しました。今後の会議も原則として一般公開で開催しますので、ぜひ多くのみなさんに聞きにいらしていただければと思います。

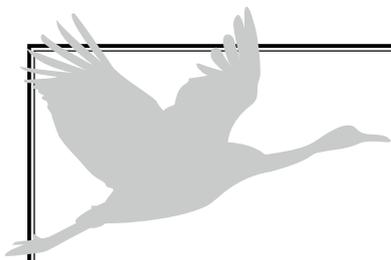


説明会の様子
(来場されたみなさんは熱心に耳を傾けていました)

鶴居村タンチョウと共生するむらづくり推進会議委員名簿

	名 前	所属・職		名 前	所属・職
1	会 長 大石 正行	鶴居村長	11	松井 俊治	幌呂地区農業者
2	副会長 國安 修一	鶴居村教育委員会教育長	12	大津 泰則	鶴居村商工会会長
3	副会長 黒沢 信道	タンチョウ保護増殖検討会委員	13	和田 正宏	特定非営利活動法人美しい村・鶴居村観光協会理事長
4	土居 孝之	鶴居村タンチョウ愛護会会長	14	門間 孝巖	鶴居村森林組合参事
5	原田 修	(公財)日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ チーフレンジャー	15	白田さゆり	鶴居村女性団体連絡協議会会長
6	本藤 泰朗	タンチョウコミュニティ委員	16	板 真奈美	一般公募
7	西村 隆志	釧路丹頂農業協同組合営農部長	17	氏原 英和	一般公募
8	齊藤 和弘	下久著呂地区農業者	18	櫻井 真弓	一般公募
9	清水 武志	下雪裡地区農業者	19	高橋 素子	一般公募
10	高橋 智久	中雪裡地区農業者	20	浜野 活年	一般公募

(順不同・敬称略)



タンチョウ保護のこれから～札幌で開催したシンポジウムより④

1月21日に札幌で開催したシンポジウム「タンチョウ保護のこれから」では、基調講演・講話に続いて、パネルディスカッションが行われました。

道央圏でタンチョウが定着したむかわ町で「タンチョウ見守り隊」として活動をしている「ネイチャー研究会 in むかわ」会長の小山内氏は、カメラマンに追われたヒナが事故死したことから、地域の人たちにタンチョウを守ることに協力してもらうため、広く町民に呼び掛けかけた「情報を伝えて守る」ことの大切さを話されました。また、「自分たちで出来ること」をキーワードに活動していることや、人とは距離をおいて逞しく生きる野生のタンチョウを尊重したい（給餌を行わない）と話されました。

タンチョウを呼び戻そうと町を上げて取り組んでいる長沼町の「舞鶴遊水地にタンチョウを呼び戻す会」会長の加藤氏は、タンチョウが住みよい環境は他の水鳥にも良い環境で、実際、舞鶴遊水地には4万羽ものマガンが飛来し、農業被害が懸念されていること。しかし、水鳥が飛来する湿地は貴重な環境だということを理解してもらうために、講演会や子供向けの生き物観察会を行ったこと。また、農家にも有益になる方策を思案していることや、食害調査を継続して行っていることなどを話されました。

お2人の話を受けて、研究者やタンチョウ保護増殖検討委員、当サンクチュアリのチーフレンジャー原田も交えて、活発な意見交換が行われました。今、タンチョウ保護が、地域住民主体で地域の問題として考えられ始めたことは非常に重要で、タンチョウやタンチョウが暮らせる環境の大切さを、地域の宝として子供たちに伝えていくことの必要性などが語られました。また、先進的な例として、鶴居でのシンポジウムで農家の方がパネラーとして参加したことや、農家全戸へのタンチョウの意識調査も取り上げられました。

シンポジウムの最後には、柳生会長が「もう害鳥という言葉はやめませんか」と呼び掛けて、会場は大きな拍手に包まれました。



◆パネリスト◆

- 正富 宏之 氏（専修大学北海道短期大学名誉教授）
- 黒沢 信道 氏（環境省タンチョウ保護増殖検討委員）
- 小山内恵子 氏（ネイチャー研究会 in むかわ会長）
- 加藤 幸一 氏（舞鶴遊水地にタンチョウを呼び戻す会会長）
- 原田 修（鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ）

◆コーディネーター◆

- 小川 巖（エコ・ネットワーク代表）



9月村のカレンダー

1 土	・第40回鶴居保育園運動会 9:30～ 鶴居保育園
2 日	・鶴居消防秋季消防演習 10:00～ 鶴居村民広場
4 火	・ウォーキング事業 9:30～ キラコタン岬
5 水	・特設人権相談 13:00～ 役場第一・二会議室
8 土	・わんぱくアドベンチャークラブ9月講座 10:00～ ふるさと情報館「みなくる」
11 火	・子育て支援事業「あそびのひろば」 10:00～ ふるさと情報館「みなくる」
12 水	・第3回鶴居村議会定例会 10:00～ 議場
13 木	・第3回鶴居村議会定例会 10:00～ 議場 ・介護予防教室「ふまともくらぶ」 10:00～ 総合センター
14 金	・第40回鶴居村寿大学室内軽スポーツ大会 9:30～ 総合センター ・第3回鶴居村議会定例会 10:00～ 議場
16 日	・第57回鶴居村駅伝競走 9:00～ 村内一円
23 日	・2018鶴居村ふるさとまつり 10:00～ 茂雪裡川河畔特設会場
26 水	・平成30年度鶴居村敬老会 11:00～ 総合センター
27 木	・1歳6か月・3歳児健診 13:00～ 総合センター

今月の表紙

下幌呂小学校にて制作された、「世界一大きな絵2020」の作品です。タンチョウが青空を優雅に羽ばたいている、まさに鶴居村を象徴する作品となりました。
(※詳細記事は4ページ)

交通事故発生状況

(鶴居駐在所より情報提供)

今年1月からの発生件数
人身事故1件／物件事故44件
7月中の発生件数
人身事故0件／物件事故6件
死亡事故ゼロの日 988日
(7月末現在)

人の動き

(7月末住民登録人口)

人口 総数 2,533人
(前月比 +12人)
うち外国人人口 28人
(男7人・女21人)

昨年同期は 2,536人で、
対前年比較は -3人です。

男 1,275人 (前月比 +3人)
女 1,258人 (前月比 +9人)

世帯数 1,157戸
(前月比 +14戸)
うち外国人世帯数 20戸

2018 鶴居村ふるさとまつり

鶴居村4大まつりの第3弾、「2018鶴居村ふるさとまつり」が今年も開催されます。
当日は食のエリア、お楽しみエリアなど様々なエリアや各種ステージイベントが用意されるほか、楽しい企画が盛りだくさんとなっています。
皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

- 日 時 **9月23日(日) 午前10時～** (※雨天決行)
- 場 所 **茂雪裡川河畔特設会場**
- 問合せ **鶴居村ふるさとまつり実行委員会 (☎64-2114)**



編集後記

連日、全国各地で最高気温の記録が更新されていった今年の夏でしたが、皆さま、素敵な夏の思い出はできましたでしょうか。私は夏休みを利用して、20代を過ごした神奈川県に、初めて家族を連れて思い出巡りの旅に出かけてきました。
うだるような暑さの中でしたが、それでも思い出の地を巡る中で時を懐かしむとともに、当時の思いや悩みなど、青春の数ページを思い出すことができました。
20代の自分は無知で、何をすることも怖く、何もできないと思っていました。それでも失敗や挫折を繰り返す中で、様々なことを経験し、多くのことを学ばせてもらいました。今の自分は、それら全てのことを礎として、今、ここにいるんだなあ、と目を閉じ感慨にふけていたところ、目を開くとそこに家族の姿はなく、はるか後方に置いていかれました(笑)。
「今日をがんばり抜いた者にのみ、明日はやってくる。」私の大好きなマンガの名言です。
日々、一日を大切にまたがんばろうと決意した、今年の夏休みでした。(T)